

2021年8月13日

岐阜県透析医会 会長 松岡哲平先生 より

■岐阜県感染対策推進課から情報提供が有りました。

『県内で、**新型コロナワクチン2回目接種後14日以上経過した透析患者**に、新型コロナ感染症例（break through 感染）が報告されている。ワクチン接種後に会食に参加した、家族が感染しての家庭内感染であった。

『また、ワクチン未接種医療従事者や break through した医療従事者が感染源となって、施設利用者に感染を広げる事例も発生している。

ワクチン接種後の感染症例は軽症・無症状な事が多く、透析患者に抗原検査をルーチンで行っている施設で感染が探知されている。』

以上より、

- ①患者・家族とも、ワクチン接種後も、マスク着用・手洗い・密の回避と言った**感染対策を十分**に行う必要が有ります。
- ② 流行地への旅行、流行地から家族の帰省なども、大変危険です。患者・家族とも、**県を跨ぐ移動は控えていただく**よう、お願いします。
- ③ 従来株と比較して、**デルタ株の初期症状は下痢や軽い咽頭痛が多く**、発熱・咳だけに注目していると落とし穴に陥る可能性があるため、**消化器症状を含め何か体調に変化が有れば透析日以外でも早急に主治医に相談**をお願いします。
- ④ ワクチン未接種者はワクチン接種を**家族とも再検討するよう**、お願いします。
- ⑤ 抗体検査については、今後の検討課題としてあります。
- ⑥ 軽い症状でもすぐに主治医に報告するように、会員のみなさまにお伝えください。

2021年8月17日

NPO 岐阜県腎臓病協議会

会長 大橋 廣義

事務局長 高田 裕二